

# U.S. Indicators

発表日：2018年11月16日(金)

## 米国 18年11月NY連銀製造業景気指数

～貿易戦争の本格化、世界景気の減速でも景気指数は高水準を維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
17/11	20.9	21.3	19.2	18.2	4.6	▲ 2.30	▲ 4.60	24.6	9.2	8.5
17/12	19.6	19.0	23.5	22.9	1.4	4.3	▲ 8.70	29.7	11.6	9.3
18/01	17.7	11.9	14.4	3.8	13.8	3.6	4.3	36.2	21.7	0.8
18/02	13.1	13.5	12.5	10.9	4.9	11.1	4.9	48.6	21.5	4.6
18/03	22.5	16.8	27.0	9.4	5.6	16.2	12.7	50.3	22.4	5.9
18/04	15.8	9.0	17.5	6.0	8.1	15.6	3.7	47.4	20.7	16.9
18/05	20.1	16.0	19.1	8.7	10.1	13.7	5.0	54.0	23.0	11.1
18/06	25.0	21.3	23.5	19.0	5.4	13.2	9.3	52.7	23.3	12.0
18/07	22.6	18.2	14.6	17.2	▲ 4.30	6.0	0.0	42.7	22.2	5.6
18/08	25.6	17.1	25.7	13.1	0.0	10.4	11.1	45.2	20.0	8.9
18/09	19.0	16.5	14.3	13.3	8.9	6.5	4.9	46.3	16.3	11.5
18/10	21.1	22.5	26.3	9.0	0.8	5.0	▲ 8.4	42.0	14.3	0.2
18/11	23.3	20.4	28.0	14.1	10.9	4.4	0	44.5	13.1	9.2

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
17/11	49.8	52.5	50.3	20.7	8.5	5.4	14.6	48.5	23.8	6.9	25.4
17/12	46.3	42.7	43.2	24.0	5.8	6.5	14.5	50.0	27.5	6.5	34.1
18/01	48.6	47.6	46.3	26.9	20.3	10.9	18.1	52.9	31.2	16.7	34.8
18/02	50.5	47.2	46.7	19.5	9.0	15.3	16.7	52.1	25.7	20.8	31.9
18/03	44.1	43.0	43.3	23.3	12.0	5.6	7.0	55.9	28.0	14.7	29.4
18/04	18.3	18.5	18.5	13.1	8.1	▲ 0.70	2.2	54.8	31.1	3.7	25.2
18/05	31.1	33.7	36.5	20.8	8.6	3.6	▲ 2.20	54.0	29.5	4.3	29.5
18/06	38.9	33.4	40.7	25.9	10.1	5.4	7.8	51.2	27.1	1.6	27.1
18/07	31.1	37.2	33.5	24.2	14.5	1.7	6.0	48.7	28.2	4.3	17.1
18/08	34.8	36.0	37.7	18.0	5.9	▲ 5.2	▲ 3.7	53.3	26.7	0.0	26.7
18/09	30.3	33.3	35.2	14.7	0.8	▲ 4.9	▲ 4.9	56.1	30.9	▲ 1.6	19.5
18/10	29.0	35.1	33.8	13.0	▲ 5.9	▲ 5.9	1.7	52.9	23.5	2.5	16.0
18/11	33.6	39.7	37.2	16.6	4	7	8.0	59.1	31.4	6.6	24.8

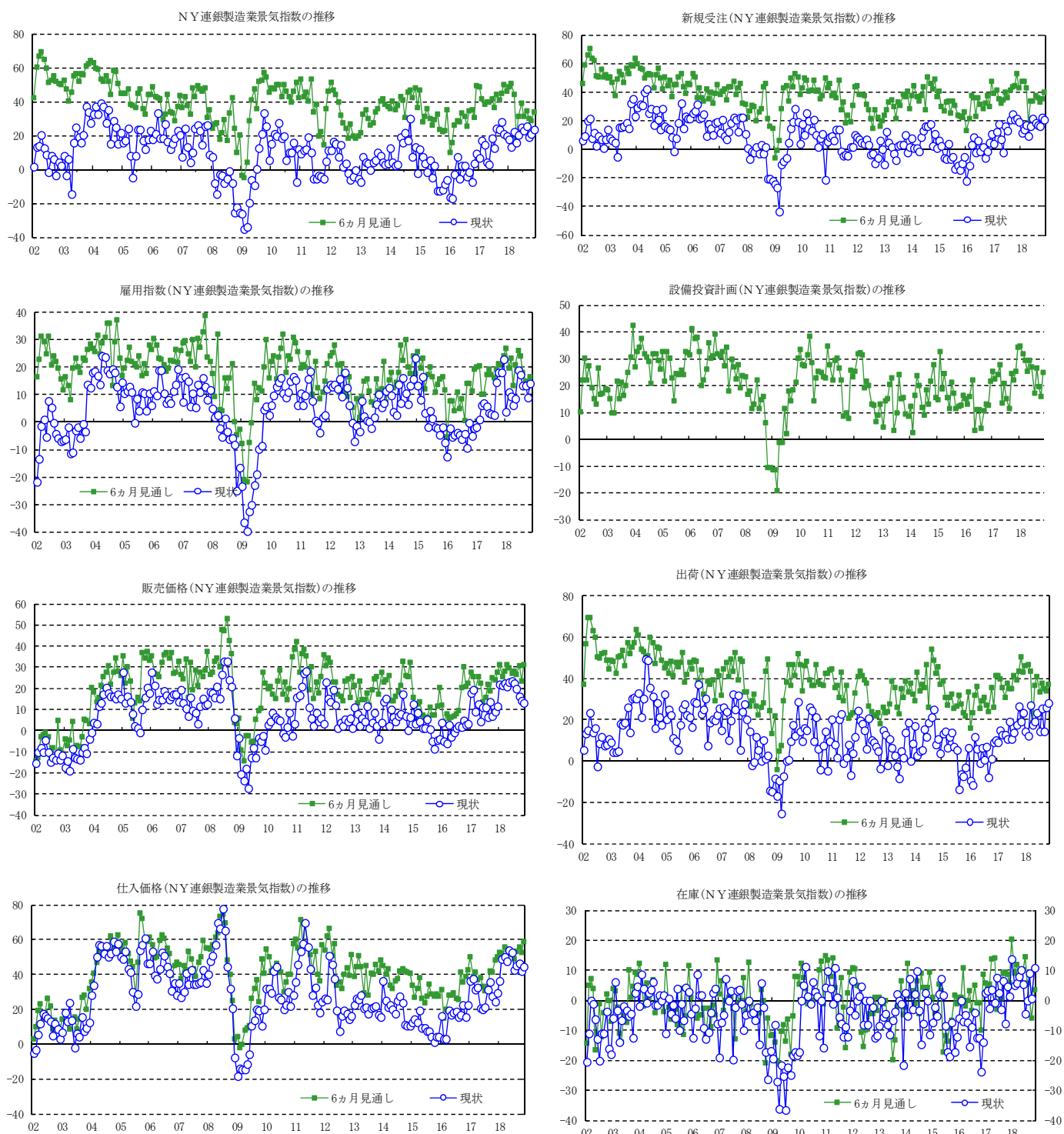
18年11月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は23.3と2.2%p上昇、市場予想の20を上回り、高い水準を維持した。大部分の鉄鋼・アルミニウム輸入への関税賦課や、米中間の貿易への関税賦課など貿易戦争の本格化、世界景気の減速による悪影響が懸念される中で、NY連銀管轄地区の製造業は11月も堅調さを維持していることが示された。

新規受注が低下した一方、出荷、在庫、雇用は上昇し、高い水準となった。同地区の製造業は、自動車産業の影響を受け易い傾向があり、自動車などの出荷が勢いを強めたとみられる。出荷、新規受注が高い水準を維持していることから在庫積み増しの動きがでており、生産活動の活発化し易い状態を示唆している。

6ヵ月先予測をみても、新規受注、出荷が上昇し高い水準を維持しているように需要の強さを背景として在庫積み増しの動きも続くと予想されることから、生産活動は活発化を続けると見込まれる。ただ、ボトルネックの状況を示す入荷遅延が増加すると予想されており、勢いが抑えられる可能性がある。景気指数(6ヵ月先予測、総合)は、重要な新規受注、出荷、在庫、入荷遅延に支えられ高い水準を維持

している。このように、景況感の高止まりが当面続くと示唆されており、製造業の堅調さは持続すると見込まれる。

また、設備投資計画は上昇し高い水準となっておりNY連銀管轄地区での設備投資の拡大ペース加速が示唆されている。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

